



## 平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年9月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク  
コード番号 7614

上場取引所 東  
URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一  
四半期報告書提出予定日 平成27年9月14日 配当支払開始予定日

TEL 03 (5405) 9541

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年7月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	18,473	6.3	852	29.5	914	24.7	484	18.1
27年1月期第2四半期	17,376	3.5	658	17.4	733	16.2	410	26.7

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 504百万円 (17.0%) 27年1月期第2四半期 430百万円 (33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	71.12	—
27年1月期第2四半期	60.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第2四半期	15,300	9,301	60.8	1,364.69
27年1月期	14,731	8,846	60.0	1,297.81

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 9,301百万円 27年1月期 8,846百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,100	5.1	1,810	11.1	1,910	9.0	1,030	5.4	151.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期2Q	7,335,634株	27年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	28年1月期2Q	519,453株	27年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期2Q	6,816,181株	27年1月期2Q	6,816,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等を背景に雇用情勢や企業収益に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外では欧州や中国経済動向等の景気下振れが懸念され、先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましても、物価上昇による売上増の要因はあったものの、消費者の食に対する「安心・安全」意識の高まりや、お客様の節約・低価格志向を背景とした企業間の競争激化、円安や飼料高騰等の影響により厳しい経営環境にありました。

このような中で当社グループは、主力事業である食肉等の小売業において、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策を実施し、また加工事業における品質向上のための施策や新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高184億73百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は8億52百万円（同29.5%増）、経常利益は9億14百万円（同24.7%増）、四半期純利益は4億84百万円（同18.1%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

#### 「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間の開閉店はそれぞれ6店ずつであり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は149店になりました。内訳は食肉小売店120店（前期末比2店増）、惣菜小売店29店（同2店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は109億91百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は6億37百万円（同13.3%増）となりました。

#### 「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において、新規取引先開拓や既存取引先における拡販が進み、売上高は34億68百万円（前年同期比1.2%増）となりました。営業利益は生産性向上の取組や、原材料等相場高のため実施した価格改定などの効果により1億9百万円（同283.9%増）となりました。

#### 「外食業」

当第2四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は1店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は58店になりました。売上高につきましては、㈱焼肉の牛太はカットセンターの新規取引先の増加や国産牛肉の単価上昇等、㈱オーエムツーダイニングはメニュー改廃の見直しやWEB戦略等のマーケティング活動により既存店の売上が堅調に伸びたことから42億77百万円（前年同期比7.5%増）となりました。営業利益につきましては、原価高の状況ながら、客数・客単価向上の施策実施等により店舗損益が改善され2億78百万円（同11.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	103億51百万円	（前期末比+2.4%）
固定資産	49億48百万円	（同+7.1%）
総資産	153億円	（同+3.9%）
流動負債	50億97百万円	（同+2.1%）
固定負債	9億円	（同+1.1%）
純資産	93億1百万円	（同+5.2%）
負債・純資産合計	153億円	（同+3.9%）

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期の通期業績予想につきましては、平成27年9月2日に公表いたしました通りであり、連結売上高381億円、連結営業利益18億円、連結経常利益19億円、連結当期純利益10億円を予定しております。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

また、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計会計期間の期首の退職給付に係る負債が47,137千円増加し、退職給付に係る資産が225,605千円、利益剰余金が115,347千円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,935,458	6,696,982
受取手形及び売掛金	1,089,860	970,368
テナント未収入金	1,409,560	1,309,110
商品及び製品	617,155	602,520
仕掛品	11,004	9,321
原材料及び貯蔵品	628,887	332,471
繰延税金資産	114,836	101,266
未収入金	177,273	201,717
その他	151,527	147,926
貸倒引当金	△22,963	△19,742
流動資産合計	10,112,600	10,351,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,029,923	4,074,858
減価償却累計額	△2,552,861	△2,547,606
建物及び構築物(純額)	1,477,062	1,527,252
機械装置及び運搬具	1,841,490	1,719,944
減価償却累計額	△1,549,029	△1,447,281
機械装置及び運搬具(純額)	292,460	272,663
土地	718,059	680,713
その他	1,505,251	1,588,054
減価償却累計額	△1,119,414	△1,148,926
その他(純額)	385,837	439,127
減損損失累計額	△360,617	△366,753
有形固定資産合計	2,512,802	2,553,003
無形固定資産		
のれん	14,549	10,912
その他	131,030	126,096
無形固定資産合計	145,580	137,008
投資その他の資産		
投資有価証券	203,298	225,495
長期貸付金	48,963	15,179
退職給付に係る資産	—	316,305
繰延税金資産	191,334	109,013
敷金及び保証金	1,203,242	1,232,312
投資不動産	257,376	257,376
減価償却累計額	△31,558	△36,999
投資不動産(純額)	225,817	220,377
その他	109,428	161,406
貸倒引当金	△21,488	△21,488
投資その他の資産合計	1,960,597	2,258,602
固定資産合計	4,618,981	4,948,614
資産合計	14,731,582	15,300,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,203,584	2,612,531
短期借入金	550,000	615,000
1年内返済予定の長期借入金	261,923	231,941
未払金	516,814	498,057
未払法人税等	487,988	278,913
賞与引当金	84,897	119,383
その他	889,347	742,117
流動負債合計	4,994,555	5,097,944
固定負債		
長期借入金	327,355	220,625
退職給付に係る負債	165,357	266,532
役員退職慰労引当金	66,733	69,564
資産除去債務	161,984	156,228
厚生年金基金解散損失引当金	95,563	95,563
その他	73,947	92,101
固定負債合計	890,940	900,614
負債合計	5,885,495	5,998,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	7,768,974	8,205,532
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	8,823,596	9,260,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,451	65,909
退職給付に係る調整累計額	△28,961	△24,067
その他の包括利益累計額合計	22,490	41,842
純資産合計	8,846,086	9,301,996
負債純資産合計	14,731,582	15,300,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	17,376,402	18,473,443
売上原価	11,173,365	11,897,642
売上総利益	6,203,036	6,575,801
販売費及び一般管理費	5,544,709	5,723,515
営業利益	658,327	852,285
営業外収益		
受取利息	4,082	2,132
受取配当金	1,671	7,104
持分法による投資利益	10,284	—
家賃収入	27,014	25,335
協賛金収入	24,543	25,740
受取手数料	7,979	7,776
その他	13,908	9,018
営業外収益合計	89,484	77,108
営業外費用		
支払利息	6,704	3,637
持分法による投資損失	—	2,488
不動産賃貸原価	6,753	7,271
その他	565	1,034
営業外費用合計	14,023	14,431
経常利益	733,788	914,962
特別利益		
有形固定資産売却益	60	1,777
投資有価証券売却益	3,721	—
受取補償金	23,500	2,000
受取保険金	9,684	—
特別利益合計	36,966	3,777
特別損失		
有形固定資産売却損	—	5,304
有形固定資産除却損	18,275	816
減損損失	6,355	33,360
店舗閉鎖損失	9,522	36,604
支払補償金	38,500	—
その他	1,055	503
特別損失合計	73,708	76,590
税金等調整前四半期純利益	697,046	842,149
法人税、住民税及び事業税	291,901	310,362
法人税等調整額	△5,317	46,987
法人税等合計	286,583	357,350
少数株主損益調整前四半期純利益	410,462	484,798
四半期純利益	410,462	484,798



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	410,462	484,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,352	14,458
退職給付に係る調整額	—	4,894
その他の包括利益合計	20,352	19,352
四半期包括利益	430,815	504,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,815	504,151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	697,046	842,149
減価償却費	238,120	240,750
減損損失	6,355	33,360
のれん償却額	3,637	3,637
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,653	△3,220
受取利息及び受取配当金	△5,754	△9,237
支払利息	6,704	3,637
持分法による投資損益(△は益)	△10,284	2,488
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34,066	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△44,349
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	7,686
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,685	34,485
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	575	2,831
有形固定資産売却損益(△は益)	△60	3,527
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,721	—
有形固定資産除却損	18,275	816
資産除去債務履行差額	△4,493	△11,555
受取保険金	△9,684	—
受取補償金	△23,500	△2,000
売上債権の増減額(△は増加)	31,412	219,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△404,537	312,733
仕入債務の増減額(△は減少)	433,278	408,947
その他	235,955	△172,578
小計	1,202,290	1,874,053
利息及び配当金の受取額	5,754	9,237
利息の支払額	△6,626	△3,799
保険金の受取額	9,684	—
補償金の受取額	23,500	2,000
法人税等の支払額	△217,637	△527,954
法人税等の還付額	88,577	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105,541	1,353,536
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△179,060	△331,562
有形固定資産の売却による収入	601	40,014
無形固定資産の取得による支出	△6,861	△1,975
投資有価証券の取得による支出	△2,394	△2,448
投資有価証券の売却による収入	3,721	—
長期貸付けによる支出	△26,879	—
長期貸付金の回収による収入	39,350	42,636
資産除去債務の履行による支出	△9,493	△1,082
敷金及び保証金の差入による支出	△15,701	△66,806
敷金及び保証金の回収による収入	44,645	36,658
その他	△14,406	△73,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,479	△358,131

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	65,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△232,137	△136,712
配当金の支払額	△135,986	△162,169
その他	△20	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,144	△233,881
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	760,918	761,523
現金及び現金同等物の期首残高	4,571,705	5,135,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,332,623	5,896,982

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,213,175	3,204,370	3,958,857	17,376,402	—	17,376,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,400	221,878	19,558	282,836	△282,836	—
計	10,254,575	3,426,248	3,978,415	17,659,239	△282,836	17,376,402
セグメント利益	562,955	28,505	248,996	840,457	△182,130	658,327

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,130千円は、セグメント間取引消去△37,128千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,001千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失6,355千円計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年2月1日 至平成27年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,954,507	3,264,783	4,254,152	18,473,443	—	18,473,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,186	203,939	23,326	264,452	△264,452	—
計	10,991,694	3,468,722	4,277,478	18,737,895	△264,452	18,473,443
セグメント利益	637,725	109,431	278,090	1,025,247	△172,961	852,285

(注) 1. セグメント利益の調整額△172,961千円は、セグメント間取引消去△33,145千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△139,815千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメント及び「外食業」セグメントにおいて、損益及びキャッシュフローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ7,779千円及び25,581千円です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。